

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年4月 1 日現在 江戸川区立平井東小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和 8 年度の目標	58.0%	58.0%
令和 7 年度の目標	58.0%	58.0%
令和 6 年度の結果	71.9%	61.3%
令和 5 年度の結果	47.5%	40.6%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第 6 学年	65.0%	73.3%
第 5 学年	54.5%	62.1%
第 4 学年	57.2%	59.0%
第 3 学年	52.5%	55.6%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・全国学力・学習状況調査報告書の授業アイデア例を活かした授業の実施 ・校内OJTの充実 ・校外研修（研修センター・指導教諭の授業参観等）の積極的な活用 ・管理職による授業参観及び指導 ・校内研究における「学び合い」を重視した授業への質的転換	・東京ベーシックドリルの診断テストを毎学期始めと終わりに年 6 回行い、結果の分析を行う。 ・分析の結果をもとに、「水チャレ」および学力向上の時間に個人の課題に取り組みさせる。 ・週 1 回よむYOMUシートに取り組む。 ・4・5 年生は、学習カルテを基に、個人にあった課題に取り組む。 ・学力テストと連携したAIドリルに取り組む。	・年 3 回のStudy weekを実施し、〔学年×10+10〕分間の家庭学習習慣が身に付くよう協力を呼び掛ける。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・探究的な学習を重視した授業の指導法を身に付ける。 ・高学年では教科担任制を実施し、誰にでも分かりやすい授業を実施する。 ・学習状況を適切に把握し、個別の指導に生かす。	・毎学期末の診断テストの結果をもとにedoスクの対象児童を決定し、支援が必要な児童に重点的な指導を行う。 ・学習状況を踏まえ、個別の課題を与え、苦手分野の克服を目指す。	・児童個々の力に応じた適切な課題を与える。 ・AIドリルを活用し、苦手な問題に重点的に取り組む。
成果指標	・全国学力学習状況調査における「国語・算数の授業の内容はよく分かる」の回答で肯定的な回答80%以上を達成しているか。	・診断テストにおける8割以上達成者80%以上を達成しているか。 ・全国学力学習状況調査におけるAB層の割合、55%以上を達成しているか。	・全国学力学習状況調査における「授業以外の勉強時間」1時間以上の割合80%以上を達成しているか。